

# 川口地域交流拠点施設整備基本構想（概要版）

## 1. 背景・現状等

(1) 川口地域は過疎地域に該当し、人口減少とともに高齢化が進んでおり、地域活力の低下が懸念されます。

- ① 地域の人口 3,914人（令和5年4月1日現在）
- ② 人口減少率 19.7%（過去10年間の人口減少率）
- ③ 高齢化率 42.1%

(2) 川口支所、川口文化会館等の公共施設は、耐震性が不足しており、老朽化も進んでいます。

### 目指す地域像

- 住民が安全・安心に住み続けられ、地域の個性を活かしながら新たな価値を生み出していく地域
- コミュニティ推進組織と支所が一体となって、関係団体等と連携・協働して地域活力の向上を促進する地域

多世代のコミュニティの場、市民活動の場として、コミュニティ機能と支所機能を一体的に集約した「川口地域交流拠点施設（仮称）」を整備

## 2. 川口地域交流拠点施設整備の方向性

(1) 計画予定地

現川口文化会館敷地、東川口保育園敷地及び川口コミュニティセンター敷地（長岡市東川口字前島1979番地128他）



(2) 川口地域交流拠点施設のコンセプト

「協働によるまちづくり拠点」・「多世代が関わるコミュニティの場」・「市民活動と学びの場」・「地域の魅力発信拠点」・「地域の防災拠点」・「新たな賑わい創出の拠点」をテーマに、6つのコンセプトを設定します。

### 【テーマ】

- 協働によるまちづくり拠点
- 多世代が関わるコミュニティの場
- 市民活動と学びの場
- 地域の魅力発信拠点
- 地域の防災拠点
- 新たな賑わい創出の拠点

### 【コンセプト】

- ①コミュニティ推進組織と支所が一体となって、関係団体等と連携・協働して地域活力の向上を促進する拠点
- ②子どもから高齢者まで、地域内外の幅広い世代が集い、ここからコミュニティの輪が広がる拠点
- ③住民が自主的かつ主体的に交流・活動・学習し、いきいきとした充実感を得られる拠点
- ④地域の豊かな歴史・文化の魅力を感じ、次世代に伝える情報発信拠点
- ⑤住み慣れた地域で暮らし続けられる、安全・安心の防災拠点
- ⑥駅前から川口地域交流拠点施設周辺地域の新たな賑わい、人の流れを創出する拠点

(3) 川口地域交流拠点施設の規模・具体的スペース

延床面積1,350㎡程度とし、既存の川口コミュニティセンター改修と併せて一体的かつ効率的な整備を図ります。

<拠点施設の具体的スペース>

多目的交流スペース（ホール、大会議室、和室、活動ルーム、調理実習室等）・自習スペース・魅力発信コーナー・子育ての駅機能・行政等執務スペース等

(4) 外構等

- ・水害対策として高床式構造等を想定し、地上階部分に平常時に利活用できるピロティ等を整備します。
- ・交流拠点施設の利用者のための駐車場・駐輪場を整備します。

(5) 関連事業（参考）

- ・川口文化会館、東川口保育園、川口支所等解体
- ・多目的広場整備（支所跡地）等

## 3. スケジュールの想定

令和6年度	現況測量・境界確定測量、基本設計
令和7年度	地質調査、実施設計、外構設計、川口文化会館・東川口保育園解体
令和8・9年度	建設工事、外構工事、川口コミュニティセンター改修工事 消防器具置場解体工事
令和9年度	しゅん工・供用開始